

(人 口)

洞爺湖町は、平成18年3月に旧虻田町と旧洞爺村の合併により誕生し合併後18年が経過しました。

平成18年の合併時の人口11,143人は、令和6年1月末で8,044人となり、3,099人が減少しています。

今後も洞爺湖町の人口は減り続け、生産年齢人口、年少人口の減少が顕著で、老年人口の割合が増えることから令和12年以降は高齢化率が50%以上になることが予測されています。

町は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、移住・定住人口の拡大に努め、人口の減少幅を緩やかにするための施策を講じていますが、過疎化や全国的な少子・高齢化の波は避けられず、人口規模に合わせた町のスリム化は「待ったなし」で進めなければなりません。

